



鳥取西高等学校 創立150周年記念事業

募金趣意書

Tottori Nishi High School



拝啓 同窓会会員の皆様におかれましては、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は本校教育活動の充実・発展のために、多大な御支援・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本校は鳥取藩の藩校「尚徳館」の『文武併進』の精神を受け継ぎ、明治6年（1873年）に第四大学区第十五番変則中学として開校以来、55,000人余の有為な人材を輩出し、来たる令和5年には創立150周年を迎えることとなりました。

近年は、スーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定を受け、グローバル人材の育成に取り組み、令和3年度からは新たにスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定により、幅広い科学的素養を備えた新時代のリーダーの育成にも力を注いでおります。

このような中で150周年という節目の年を迎えるにあたり、同窓会、PTA、野球部後援会、学校が一体となって実行委員会を設立し、在校生やこれから入学してくる生徒たちの教育環境の充実を図るために実施する記念事業の準備を進めてまいります。

つきましては、厳しい経済事情の中で恐縮ではありますが、創立150周年記念事業を成功させ、母校の更なる発展の礎となるよう、皆様方の募金への御協力をお願い申し上げます。 敬具

令和4年6月吉日

鳥取西高等学校創立150周年記念事業実行委員会

会長 小 谷 文 夫（同窓会長）

Anniversary

150th



沿革

明治6年（1873年）

鳥取藩校「尚徳館」の伝統を受けて第四大学区第十五番変則中学として開校

明治22年（1889年）

校舎を鳥取城内三の丸（現在地）に新築

昭和24年（1949年）

県立鳥取第一高等学校、県立鳥取第三高等学校、県立鳥取商業高等学校の3校を併合し、鳥取県立鳥取西高等学校と改称し、全日制普通科、同商業科、定時制普通科、同商業科、通信教育部並びに附属幼稚園を設置

昭和27年（1952年）

全日制家庭科を設置（S40家庭科を家政科に改編、H6家政科を家庭科学科に改編）

昭和32年（1957年）

全日制商業科を学年進行で分離独立

昭和39年（1964年）

校舎全面改築竣工

昭和48年（1973年）

創立100周年記念式典挙行

昭和58年（1983年）

覚寺野球グラウンド完成

昭和59年（1984年）

第3校舎新築完成

昭和63年（1988年）

同窓会館完成

平成15年（2003年）

全日制家庭科学科閉科、附属幼稚園閉園

平成19年（2007年）

定時制、通信制閉課程

平成29年（2017年）

耐震化工事及び校舎全面改修完了

令和5年（2023年）

創立150周年を迎える



鳥取西高等学校創立百周年



募金概要

1. 募金の目的

鳥取西高等学校創立150周年記念事業を通して本校の教育環境の充実発展を図る。

2. 募金団体の名称、代表者

名 称 鳥取西高等学校創立150周年記念事業実行委員会
代表者 会長 小谷文夫

3. 募金目標額 3,000万円

うち、 特定寄附金 1,250万円
一般寄附金 1,750万円

特定寄附金は「中庭及び食堂の一体整備」事業に、一般寄附金はその他の事業に充てられます。
また、特定寄附の場合は税制上の優遇措置が受けられます。(以下の7をご参照ください。)

4. 募金額

特定寄附 10,000円以上
一般寄附 1口 3,000円(できる限り、複数口でお願いいたします。)

5. 募金募集期間

令和4年6月25日～令和5年6月24日

6. 募金方法

特定寄附 郵便振替
一般寄附 郵便振替、クレジット決済

7. 特定寄附による税制上の優遇措置

特定寄附により購入した「中庭及び食堂の一体整備」に係る物品は、鳥取県に採納されることから、特定寄附としてご寄附されます方は、所得税においては、所得税法第78条第2項第1号により寄附金控除の対象となり、法人税においては、法人税法第37条第3項第1号により損金算入の対象となります。

なお、特定寄附としての受付は、1,250万円を限度として広島国税局の認可を受けているため、これを超えた場合は一般寄附としての受け付けとなりますので、税制上の優遇措置を希望される方は早めのご寄附をお願いします。

※寄附金控除とは

特定寄附をされた方が個人の場合は、本実行委員会発行の「特定寄附用領収書」を添付して確定申告を行うことにより、税の優遇が受けられます。減税額の目安は次のとおりですが、詳しくは最寄りの税務署にお問い合わせください。

$$\text{減税額の目安} = (\text{その年に行った特定寄附額} - 2 \text{千円}) \times \text{税率}$$

また、特定寄附をされた方が法人の場合は、寄附金全額が支出した事業年度の損金の額に算入できます。

記念事業概要

● 中庭及び食堂の一体整備

中庭及び食堂を生徒の憩いの場として活用できるよう、中庭には屋根付テラス席を設けるとともに、可動式のステージを設置し、イベント等でも活用する。また、食堂内は机・椅子をおしゃれなものに更新し、生徒が自由に弾けるようなピアノを置く。併せて、食堂廊下には生徒の成果を展示できる展示ケースを設置する。

● 鳥取西高等学校教育振興基金設立

鳥取西高等学校が実施する海外及び国内研修プログラム等に参加する生徒への経済的援助を行い、意欲のある生徒が研修に参加することを支援するための基金を設立する。

● 資料展

歴史ある野球部関係資料を含む貴重な本校所蔵資料についての資料展を令和5年10月頃に、とりぎん文化会館展示室において開催する。

● 硬式野球招待試合

高校野球における歴史ある名門校を招聘して、ヤマスポーツパーク野球場（鳥取市布勢）において招待試合を行う。

● 記念式典等

令和5年10月下旬に、とりぎん文化会館梨花ホールにおいて記念式典を挙げる。併せて、本校OBである東京大学社会科学研究所 有田伸教授を講師に招いて記念講演を実施する。

● 記念出版

「鳥取西高百五十年史」、「著者と語った10年 第3巻」の他、本校所蔵の写真等の資料などを収録した「デジタルコレクションDVD」を刊行する。



前庭



硬式野球部



音楽ホール

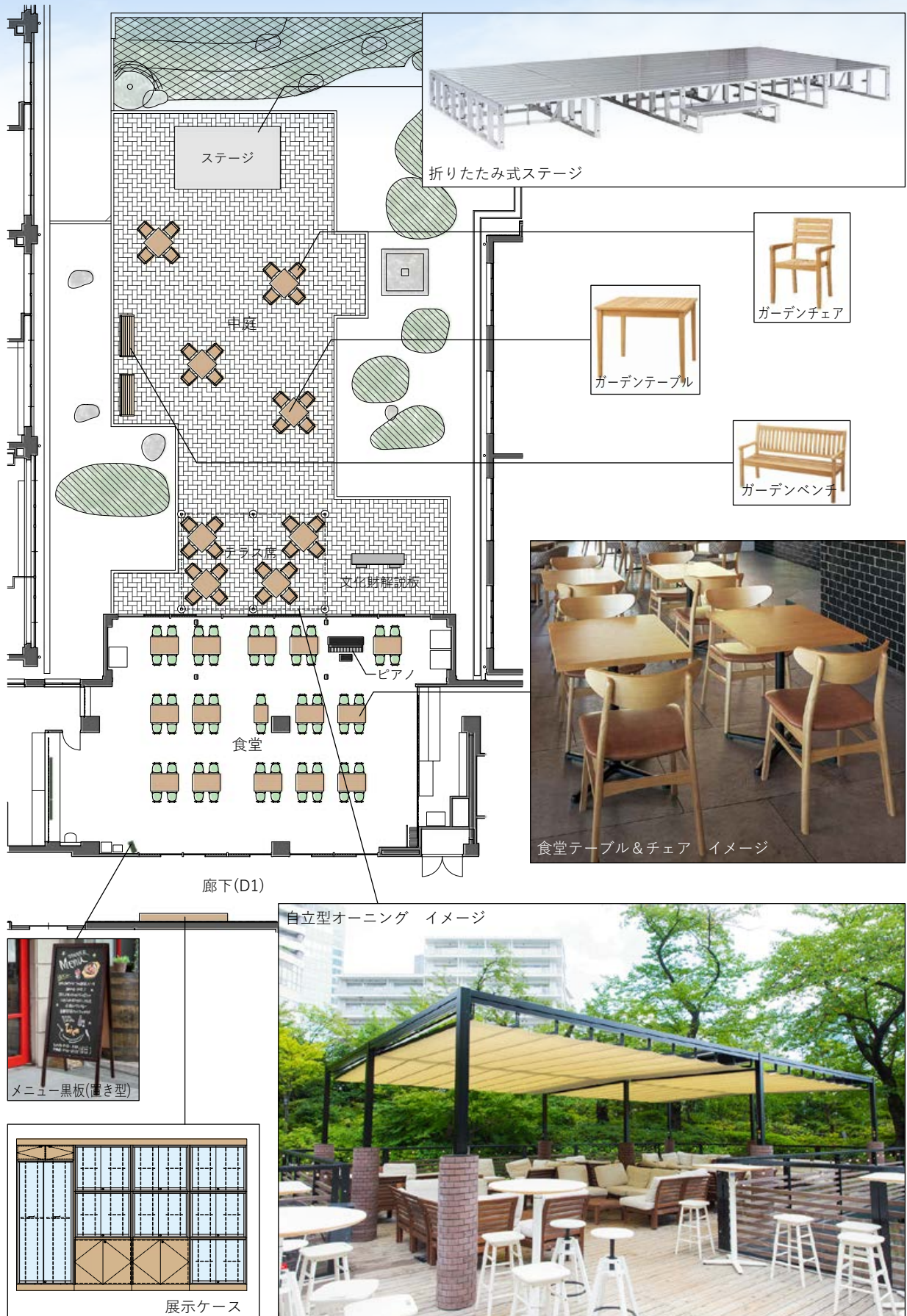


図書館



現在の食堂

中庭及び食堂の一体整備 完成イメージ



SSH スーパーサイエンスハイスクール 指定校 (R3～7年度)

学際融合型プログラムによる
幅広い科学的素養の育成と新時代を創造するリーダーの養成

探究学習

個人活動や少人数のグループで協同的・探究的な学習を行っています。社会の抱える課題について、豊かで持続可能な社会づくりをめざして、解決に向けた方策を考えたり、科学が貢献できることは何かを探ったりして発表します。学校図書館の48,000冊を超える豊富な蔵書が研究を支援しています。

研究テーマ

- グローバル社会における理想的な国際語についての考察
- 医師の労働状況から見た働き方改革
- 災害の種類を考慮した鳥取西高周辺の避難所及び避難経路図の作成
- ジビエの活用の現状と可能性
- スナヤツメ (Lethenteron.sp) の行動と形態についての研究
- 水を冷媒の代替として用いた冷凍機における冷房能力の測定



学会・大会参加

生徒のみなさんが、学問の奥深さに触れ、深く学ぶことの喜びを実感できるよう、様々な教育活動を実践しています。それをきっかけとしてさらに努力を重ね、学会や学術系大会に参加し、高い評価を受けている生徒が多数います。

主な学術系大会

- グローバルクラスルーム
高校生模擬国連国際大会 (日本代表) **国際**
- 国際生物学オリンピック (日本代表・銀メダル) **国際**
- 高等学校グローバル観光コンテスト (グランプリ) **全国**
- 全国高等学校情報処理選手権 (団体優勝) **全国**
- 全国高等学校IT 簿記選手権大会 (団体準優勝) **全国**
- 高校生国際シンポジウム (優秀賞) **全国**
- 科学の甲子園 **全国**
- 日本地理学会ポスターセッション (優秀賞) **全国**
- 日本動物学会ポスターセッション **全国**
- 日本物理学会全国ジュニアセッション **全国**
- SGH全国高校生フォーラム **全国**
- WWL × SGH探究甲子園 **全国**
- 国際地理オリンピック (銅賞) **科学コンテスト**
- 日本情報オリンピック **科学コンテスト**
- 日本数学オリンピック **科学コンテスト**
- 日本地学オリンピック **科学コンテスト**
- 鳥取県高校生理数課題研究等発表会 (最優秀賞) **県**



SGH スーパーグローバルハイスクール ネットワーク参加校（R3～5年度）

地域・世界とつながり
新しい価値を創造するグローバルリーダーの育成

海外交流

海外とのオンライン交流や海外派遣プログラムを順次開始する予定です。マレーシア、シンガポールでのESDフィールド研修やオンラインによる海外の高校生や大学生との交流やプロジェクト型学習を行う予定です。

アメリカ・バーモント州の高校生との交流、韓国・春川高校（姉妹校）との交流のほか、高校生模擬国連大会やハリーメッセル・オーストラリア科学奨学生などに挑戦する生徒もいます。



講演会・座談会

各界の第一線で活躍する人を招き、対話したり、共に研究したりするプログラムを多数用意しています。

令和元年度は鳥取県グローバルリーダーズキャンパス事業によるアメリカ・スタンフォード大学のヨナス・エドマン教授の討議型授業も行われました。

本校で実施した主な講演会

「売上一兆円パン屋の最高顧問からのメッセージ!鳥取から世界にチャレンジ!」

山田 憲典 氏（山崎製パン株式会社最高顧問・株式会社不二家代表取締役会長）【本校卒業】

「分子遺伝学ー分子レベルで遺伝のメカニズムに迫るー」

岩崎 博史 氏（東京工業大学教授）【本校卒業】

「西高生へのメッセージ」

亀井 一賀 氏（鳥取県副知事）【本校卒業】

「正解のない世界でーとことん考えキッパリ決める。ー」

熊埜御堂 朋子 氏（NHKメディア戦略本部長）【本校卒業】

「理工系へ進んで研究者やエンジニアになって世界で活躍できるか？」

ーデジタル化が進む時代における新しい物流や電力の研究ー」

田中 謙司 氏（東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻特任准教授）【本校卒業】

「アバターと未来社会」

石黒 浩 氏（大阪大学大学院基礎工学研究科教授）



卒業生からのメッセージ



米濱 和英（昭和37年卒）

株式会社リンガーハット名誉会長

私には3つの故郷（ふるさと）がございます。まず1943年に生まれた中国山東省煙台です。終戦を迎え1945年12月に青島より10歳の姉の背中におんぶされ脱出したようですが、今のウクライナ情勢を見るにつけ、自分のことのように思います。

帰国後18歳まで鳥取の賀露で生活しましたが、高校3年の時に父

が亡くなり家業が倒産したため、家屋敷・畑・工場を全て清算し、一家で長崎に移住しました。そして兄弟で「とんかつ浜かつ」を営み、その後長崎ちゃんぽん「リンガーハット」を作りました。以来、商売の故郷は長崎です。

鳥取を離れて60年、本社も東京に移転し創業60周年となりました。ですが鳥取の方々は人情が深く、いまでも同窓会は毎年のように開催し男女和気あいあいと楽しんでおります。いつも思い出すのは鳥取の風景です。そして友達は宝です。



加藤 重雄（昭和50年卒）

法政大学野球部監督

*鳥取県初の東京六大学野球監督

私の野球人生は本校から始まりました。長き歴史を誇る学び舎と輝かしい伝統のある野球部で活動したことを誇りに思っています。柵越える度にお堀に入ってボールを拾った1年生の頃、布勢市民球場まで往復走って練習した日々、また、思い出深い応援練習、その応援団のリードで全校生に激励された壮行会等が懐かしく思い出されます。中

でも、甲子園出場（2年生時）の夢を果たしたことは、最大の思い出です。当時ご指導いただいた人間味溢れる井上博志監督には、今なお感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、2021年母校の法政大学野球部の監督に就任しましたが、東京六大学リーグ優勝を目指す中、本校で培ったことを礎として指導しています。“野球を学び・野球から学ぶ”ことを大切に人間力を高めることが将来に役立つものと信じるからです。

最後に、野球部が甲子園出場を果たし、みんなで応援できる日が来ることを楽しみにしています。



小林 誠人（昭和62年卒）

鳥取県立中央病院院長補佐/高次救急集中治療センター長
*カリスマ救急医・日本一のフライトドクター

「地元・鳥取県に救命救急医療を根付かせ、実践する。」ことあるごとに言ってきました。その実現を150年の歴史を有する母校・鳥取西高の同窓生の方々が様々な形で支えて下さっています。この場をお借りして感謝・御礼申し上げます。久松山の麓・鳥取城跡のお堀端で過ご

した3年間は、今でも鮮明に思い出されます。目的に向かうための主体的な学びと行動を容認してくれる校風（と思っていました）は、得意分野を伸ばし、高校生活の窮屈さから解放してくれました。また多くの個性的な友人との時間は、今の社会生活、仕事の礎でもある「人と人の関わり」「誰かのために」「他人との違い」などを心に染みこませてくれました。鳥取西高卒業生であることの誇り、有り難さは歳を重ねるごとに実感します。鳥取西高を卒業して良かった！一人でも多くの同窓生がこう言えるような母校であり続けて下さい。



岡島 礼奈（平成9年卒）

株式会社ALE代表取締役/CEO
*世界初「人工流れ星」に挑戦

離れてみると、故郷の良さをしみじみと実感します。美しい自然、空気の綺麗さ、特に星空の綺麗さについていつも懐かしく感じています。鳥取は近年、星取県として観光PRに力を入れています。以前は

流星群の日に砂丘などに見に行っても人はほとんどいませんでしたが、最近は砂丘でも星空を見に来て楽しんでいる人を多く見ます。

星空や宇宙産業を鳥取から発信する動きも盛んになってきています。鳥取にいる人々や、関係する人々の努力の賜物だと感じます。自身も、この美しい星空の元で過ごしていなかったら、宇宙に興味を持ち、宇宙スタートアップを始めることもなかったであろうとふと思えます。

そんな鳥取から宇宙の道が拓けるよう、流れ星に願いを。



鶴崎 修功（平成26年卒）

東京大学大学院数理科学研究科・QuizKnock
*TBSテレビ「東大王」に出演

鳥取西高校から東京大学に進学して、9年目になります。生まれてから鳥取を出るまで18年間、その半分以上を東京で過ごしてきました。その間、早押しクイズを始め、クイズが仕事になり、新しい分野の人に出会い、東京で新しい体験を多くしてきました。しかし、鳥取西高校で

過ごしたころの履歴は、私の生活の大きな部分となっています。

西高の同級生はいま全国にいますが、実はいまも毎日のように会っています。PC上の通話アプリを通してです。技術の進歩は驚くべきもので、長く経ってなおよく遊んでくれる関係ができたのも、西高の環境によってよい高校生活がもたらされたからだと感じます。

今後の西高生についても、このよい環境が、維持されるところから改善されて、世界へ羽ばたくのに最適なものになっていくことを願っています。

鳥取西高等学校創立150周年記念事業実行委員会委員

役職	氏名	摘要
会長	小谷 文夫	同窓会長
副会長	池内 勝彦	同窓会副会長
〃	徳吉 淳一	P T A会長
〃	小林 弘尚	野球部後援会長
〃	國岡 進	校長

役職	氏名	摘要
委員	勢川 洋之	同窓会副会長
〃	寺坂 淳	鳥城会（関東地区同窓会）副会長
〃	窪田 邦倫	近畿同窓会長
〃	坂田 貞美	東海同窓会幹事
〃	水野 由久	P T A副会長
〃	池成 幸吉	野球部後援会副会長

実行委員会連絡先 鳥取西高等学校創立150周年記念事業実行委員会

住所／〒680-0011 鳥取県鳥取市東町二丁目112（鳥取県立鳥取西高等学校内）

電話／0857-22-8281 FAX／0857-22-7324 E-MAIL／toriw-h@mailk.torikyo.ed.jp